

意見聴取結果整理シート（様式）

氏名	豊能圏域
----	------

■ 基金事業について

	背景	課題	提案	効果	(あれば) 該当基金事業の整理番号
	<p>①在宅歯科ケアステーションの設置により、義歯の不具合・痛み等の医療で往診依頼のあった患者さんから継続して口腔ケアを依頼される例が増えている。基金による周知活動の結果として健康寿命延伸へ口腔ケアの重要性の理解が広まっていると思われる。</p>	<p>①基金事業の終了により平成30年度以降、在宅歯科ケアステーションのコーディネータ人件費、主に介護職へ対する医療から介護へつなぐ研修・啓蒙活動の継続が困難となると思われる。</p>	<p>①在宅歯科ケアステーション継続のために、基金事業の補助継続。在宅歯科ケアステーションに対する市の理解も乏しいため、市に移管するのであれば、府から市に支出を引き継ぐように提言して欲しい。</p>	<p>①研修・広報活動を継続することにより、他職種で口腔ケアの必要性への認識が広がっており、医療から介護（予防）につなぐことにより医療費の削減がみこまれる。</p>	10
	<p>②医療・介護の関係者間で効率的に在宅療養者の情報共有を図るため、医療介護 ICT 連携システムの導入が求められている。豊中市では、平成29年度から試行的に導入し、平成30年度以降全市域への拡大をめざしている。</p>	<p>②本市のシステム導入は、平成29年度から着手したところであり、基金事業が終了する平成29年度までに全市域的に展開するのは困難な状況となっている。また、システムの導入にあたっては、利用者への研修費の負担が課題となっている。</p>	<p>②当該事業について、基金事業の対象期間を延長するとともに、システムの普及拡大を図るため、2年目以降の研修経費についても補助の対象とされたい。</p>	<p>②期間延長、対象経費を拡大することにより、システムの利用促進が図られ、多職種間での連携の強化、業務の効率化・質の向上が期待できる。</p>	なし